

b) 学校評価

| | | |
|--|---------------|---------------|
| 自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.doreme.ac.jp/ | | |
| 学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 本学院は、教務委員会を設置している。教務委員会で作成された自己点検・自己評価について、客観性と透明性を高め、教育の一層の充実を図る事を目的として、学校関係者評価委員会を設置している。委員会は、本学院が作成した自己点検・自己評価の結果について検証・評価及び助言を行い、その結果を理事会に報告し、公表するものとしている。学校関係者評価委員会は、外部委員のみで構成され、本学院の教育理念・目標について理解し、人材育成等に有識のある学外の関係者の中から院長が選考し、委嘱している。 | | |
| 学校関係者評価の委員 | | |
| 所属 | 所属 | 所属 |
| 有限会社スズーパーク | 有限会社スズーパーク | 有限会社スズーパーク |
| 有限会社東陽商事 | 有限会社東陽商事 | 有限会社東陽商事 |
| 学校法人北翔大学 | 学校法人北翔大学 | 学校法人北翔大学 |
| NPO 法人地域対話士協会 | NPO 法人地域対話士協会 | NPO 法人地域対話士協会 |
| 学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.doreme.ac.jp/ | | |
| 第三者による学校評価 (任意記載事項) | | |

c) 当該学校に係る情報

| |
|--|
| (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.doreme.ac.jp/ |
|--|

令和 2 年 度
(2020年度)

学校関係者評価報告書

令和2年4月1日から

令和3年3月31日まで

令和3年5月1日

学校法人 浅井学園
北海道ドレスメーカー学院

令和2年度 学校関係者評価について

1. 概要

北海道ドレスメーカー学院が、教育水準の向上及び活性化、社会的責任を果たす事を目的として、学則を基本として学校の目標と教育の実態を照らし合わせ、自らの教育活動等の状況について自己点検を行い、現状把握及び認識をした上で、その結果を踏まえ、自己評価し、その結果について学校関係者の評価を行った。

2. 実施日時

令和2年3月26日（金）15：00～17：00

3. 実施場所

本校ヘアメイク室及びZOOMアプリを使った遠隔

4. 実施方法

1) 実施組織：学校関係者評価委員会

<学校関係者評価委員>

- ・荒井 三明 様（有限会社スージーパーカー代表取締役）：企業等役員
- ・工藤 知徳 様（有限会社東陽商事営業企画チーフ）：卒業生
- ・大関 慎 様（学校法人浅井学園北翔大学短期大学部学科長）：教育関係者
- ・谷川 幸雄 様（NPO 法人地域対話士協会理事長）：教育関係者

<学校側参加者>

- ・浅井 学 （北海道ドレスメーカー学院院長）
- ・川村 明美（北海道ドレスメーカー学院副院長）

2) 評価基準：文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠

3) 評価方法：令和2年度学校運営・教育活動実績報告に対する学校関係者評価

5. 評価項目

次の10項目について実施

- 1) 教育理念・目標
- 2) 学校運営
- 3) 教育活動
- 4) 学習成果
- 5) 学生支援
- 6) 教育環境
- 7) 学生受入募集
- 8) 財務状況

- 9) 法令等の遵守
- 10) 社会貢献・地域貢献

6. 評価項目に対する評価

- 1) 4段階点数評価とする
- 2) 委員会で提出された意見や質疑、提案事項を記載

①項目3 教育活動に関する質問

(委員からの質問)

休学退学者について、改善をする方法について教えて欲しい

(本学の回答)

休学・退学対応として実施予定であった隔週水曜日を休日とし、通いやすい環境を整えようと準備をしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、予定を大幅に変えることとなった。このことから、次年度にこの案を実施することとした。本年度は、コロナの対応からか、友人関係等の休学・退学は無く、質が変わった感じがあり、その状況を注視し、改善点を見つけていきたい。

(委員からの質問)

卒業生との連携を充実させることはできないか。

(本学の回答)

本学は、毎年同窓会を札幌・東京で開催している。最近はコロナのため延期となり、今年も延期となった。引き続き同窓会を定期開催し、卒業生の動向を把握し、就職等強化を図っていきたい。

(委員からの質問)

学生のメンタルケアはどのように行っているのか

(本学の回答)

本学では、年度の終わり頃に **Dcreation** というイベントを行っており、これに向けてチームで作品を作り上げていく。このような人と議論したり、共同作業をする活動を通じて、人との密なコミュニケーションの取り方を学習していく。その中で人間関係に躓いたりした場合には、担任が中に入り、調整を行っている。その他の学校生活の中で起こる学生の悩みについては、個別に担任が聞き取りを行い、教務委員会で取り上げ、院長も個別面談に入りながらきめ細かく対応を行っている。

②項目10 社会貢献・地域貢献に関する質問

(委員からの質問)

社会貢献・地域貢献を詳しく教えて欲しい

(本学の回答)

ラーメン店のスタッフTシャツデザイン画コンテストを、ドレメ独自に行った。

夏には裏参道町内会が主催の「裏参道祭り」は中止となった。ここで販売をしようと考えていた商品については、パルコで行われたテレビ北海道主催「ワンダフルライフ」で行った。学生がモノづくりを通して「商品を買ってもらおう大切さ」の繋がりを知る良い機会となった。

7. その他

1) 令和2年度の学校自己点検・評価報告書を基に点数評価を頂いた。

- ・項目 1 教育理念・目標 評価項目 4.0 全ての項目について適切と評価
- ・項目 2 学校運営 評価項目 4.0 全ての項目について適切と評価
- ・項目 3 教育活動 評価項目 3.5
課題：資格取得率の向上に向けて、更なる改善が必要
- ・項目 4 学習成果 評価項目 3.5
課題：学生の習熟度を把握する方策を検討する必要がある
- ・項目 5 学生支援 評価項目 3.8
課題：休学・退学の低減に向けた施策を計画する必要がある
- ・項目 6 教育環境 評価項目 4.0 全ての項目について適切と評価
- ・項目 7 学生受入募集 評価項目 4.0 全ての項目について適切と評価
- ・項目 8 財務状況 評価項目 4.0 全ての項目について適切と評価
- ・項目 9 法令等の遵守 評価項目 4.0 全ての項目について適切と評価
- ・項目 10 社会貢献・地域貢献 評価項目 4.0 全ての項目について適切と評価